

県南保健所感染症情報

令和8年 第 34 週

令和8年8月17日 ～ 令和8年8月23日

【発行元】長崎県県南保健所 地域保健課 TEL:0957-62-3289

◇◇定点把握の対象となる5類感染症 発生状況◇◇ （定点当たり患者数）

定 点	疾 病 名	週別 発生状況						国・県・県南 発生状況						基準値		
		県南保健所						第 34 週						警報レベル		注 意 報 レ ベル
		32 週		33 週		34 週		全国		長崎県		県南保健所		開始	終息	
	インフルエンザ定点	1.25		0.50		0.75		1.11		1.08		0.75		30	10	10
	COVID-19	3.50		1.50		1.00		1.18		1.12		1.00				
	急性呼吸器感染症 (ARI)	23.50		24.75		31.25		36.30		42.32		31.25				
小 児 科 定 点	RSウイルス感染症	1.00		1.00		2.33		0.49		0.87		2.33				
	咽頭結膜熱	0.00		0.33		0.67		0.26		0.61		0.67		3	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.67		5.00		5.33		1.09		1.26		5.33		8	4	
	感染性胃腸炎	0.33		0.00		1.33		3.29		2.84		1.33		20	12	
	水痘	0.67		0.00		4.33	警報	0.27		0.77		4.33	警報	2	1	1
	手足口病	3.33		0.00		0.33		2.04	警報	0.48		0.33		5	2	
	伝染性紅斑（リンゴ病）	0.00		0.00		0.00		0.04		0.03		0.00		2	1	
	突発性発しん	0.33		0.33		0.00		0.29		0.42		0.00				
	ヘルパンギーナ	0.33		0.33		0.00		0.67		0.68		0.00		6	2	
	流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	0.00		0.00		0.00		0.04		0.00		0.00		6	2	3
眼 科 定 点	急性出血性結膜炎	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00		1	0.1	
	流行性角結膜炎	4.00		1.00		6.00		0.84		3.75		6.00		8	4	
基 幹 定 点	細菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00				
	無菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.05		0.00		0.00				
	マイコプラズマ肺炎	0.00		0.00		0.00		0.44		0.17		0.00				
	クラミジア肺炎 （オウム病は除く）	0.00		0.00		0.00		0.02		0.00		0.00				
	感染性胃腸炎 （ロタウイルスであるものに限る）	0.00		0.00		0.00		0.01		0.00		0.00				

◇◇全数把握対象感染症 発生状況◇◇ ※報告日掲載（県作成速報：診断日掲載）

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	【第34週】 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 患者1名（80代・男性）

◇◇トピックス・季節情報◇◇

☆カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）感染症の発生報告がありました。
管内で、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）感染症の発生報告がありました。
CRE感染症とは、メロペネムなどのカルバペネム系薬剤及び広域βーラクタム剤に対して耐性を示す腸内細菌目細菌による感染症の総称です。
主に感染防御機能の低下した患者や外科手術後の患者、抗菌薬を長期にわたって使用している患者などに感染症を起こします。肺炎などの呼吸器感染症、尿路感染症、手術部位や外傷部位の感染症、カテーテル関連血流感染症、敗血症、髄膜炎その他多様な感染症を起こします。ただし、無症状で腸管等に保菌されることも多くあります。
感染経路は菌の種類により異なりますが、主に接触感染です。呼吸器感染症をきたした場合は、そこから飛沫感染の形で伝播する可能性があります。手洗いや消毒が不完全であると、汚染された医療器具や介助者の手などを通じて感染を起こすことがあります。
健康な人への感染はほとんど心配ありませんが、病院に入院している人や施設の方との面会を行う際には、手洗いと消毒をしっかり行うようにしましょう。また、ご家族の方が感染した場合には、患者さんの喀痰や便などの処置や処理の際に手袋を用い、終了後には、石鹸で手指を洗えば問題ありません。
施設及び院内感染対策として、ドアノブ、手すりなど手が触れる場所の清掃・消毒により環境を清潔に保つことや、人工呼吸器などの医療器具の消毒や手洗いを徹底することが重要です。免疫機能異常、慢性肺疾患、糖尿病など基礎疾患を持っている方は、基礎疾患の治療を適切に行うことも感染予防のために大切です。